

# みんなの 声 ひろば



(岡)

ダンスでいきいき  
交流を！  
近藤 盛一

2年前、私はまちづくりの会で「健康の維持増進と地域のふれあいの場づくり」を提唱しました。そこで新町誕生と同時に公民館活動の中に県民カレッジ学友会と連携で中山・大山公民館に「レッ

ツダンス講座」を、名和公民館に児童を対象として「ジュニアダンス教室」を開設しました。社交ダンスと聞くと昔の風俗的な印象を持たれる方もまだおられますが、最近では学校体育の科目

にも取り入れられるようになりました。参加者には、経験者の方はもちろん、運動不足やストレス解消等を目的にした新人さんもあります。どなたも音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを実感さ

れているようです。19才から78才の方まで幅広い年齢層ですが、和気あいあいと楽しく交流をしています。

## あとがき

大山町総合計画も提案され、激しい質疑応答のあった6月定例議会も終わりのころ、庭に蛍が飛んでいます。

この蛍、発光の仕組みはタンパク質性の物質と発光を促す酵素が、体の中で酸化反応して光を作り出します。この時、熱が微量しか発生しませんが（冷光と呼ばれています）

エネルギーロスの少ない（蛍光灯の半分以下）発光の仕組みとして、現在、注目を集め、研究されています。

蛍が飛びかう風景を、いつまでも残すことも私たちの務めだと思えます。

(寿)

## タイムカプセル に託した思い



(上福)

前田 ひづる

8年前、次男の小学校卒業の日、最後のH・Rでのこと、クラスの生徒全員が泣いていました。クールかと思っていた子どもたちの姿が意外でしたが、先生を思い、友を、母校を思う心がうれしかった。

雨と涙でグチャグチャになりながら、《タイムカプセル》を先生と皆で埋めていました。少子化問題は、大山町も例外ではなく、三校統合により、庄内小は廃校になりました。学校の周りでは道路の拡幅のための工事が進み、タイムカプセルが気にかかります。

卒業式の日に見せた涙は、いつの日か我が町を担う若い力となり、優しく強い心を養う糧と信じたい。そしてタイムカプセルに託したそれぞれの思いに添えてくれる、そんな大山町に期待しています。

## 不思議な 出会い



(あけまの森)

桑原可菜子

一人旅のお客様でした。チェックイン時に「私はA新聞の記者です」と自己紹介をうけ、私たちはフツと思ひあたることはありません。

1985年ペンション開業時、A新聞の取材を受けていたのです。当時、まだ珍しかった「車イス対応の宿泊施設が大山に

オープン！」という内容でした。「記者は大阪のA氏でしたよ」と話すと驚いたように「エーッ、僕の大先輩ですよ」……不思議な出会いでした。

大先輩の書いた黄色に変色した20年前の記事を皆で読みました。車イス用トイレが今のようになっています。

今後も、皆が心のバリアをフリーにして暮らせるやさしい町、お客様をお迎えできる暖かい県になってほしいと願っています。

## 《広報委員会》

委員長	西山富三郎
副委員長	岡田 聡
委員	遠藤 幸子
委員	吉原美智恵
委員	西尾 寿博
委員	近藤 大介